

注3

大学番号：私441

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

安田女子大学大学院 薬学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 安田学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 庶務課長・^{クニトシ}國利 ^{タツヒロ}辰洋

電話番号 082-878-8112

（夜間） 082-878-8112

F A X 082-872-2896

e-mail syomu.box@yasuda-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 安田学園

(2) 大 学 名

安田女子大学

(3) 大学の位置

〒731-0153

広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヤスダ ヒロミ) 安 田 裕 実 (平成20年4月1日)		
学 長	(セヤマ トシオ) 瀬 山 敏 雄 (平成22年4月1日)		
研究科長	(フクザワ ケンジ) 福 澤 健 治 (平成25年4月1日)	(カメイ チアキ) 亀 井 千 晃 (平成26年4月1日)	平成26年4月1日 前任者 辞任のため変更 (26)
専攻長	(カメイ チアキ) 亀 井 千 晃 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
 平成26年度に報告する内容 → (26)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成23年度開設の博士後期課程の場合（平成25年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻 博士（薬学）	4年	2人	8人	基礎となる学部等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
区 分		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	人	人	2人	1人	2人	1人	0.25倍	
		()		(—)		(—)			
		[]		[—]		[—]			
	志願者数	()	()	1	—	1	—		
		[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]		
	受験者数	()	()	1	—	1	—		
		[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]		
	合格者数	()	()	1	—	1	—		
		[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]		
B	入学者数	()	()	0	—	1	—		
		[]	[]	(—)	(—)	(—)	(—)		
				[—]	[—]	[—]	[—]		
入学定員超過率 B/A				0		0.5			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次			[—] 0	[—]	[—] 1	[—]	
2 年次					[—] 0	[—]	
3 年次							
計	[—]		[—] 0		[—] 1		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [—]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	0 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	1 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	1 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減ら
ありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してくだ
さい。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）
により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための
準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、
【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記
入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してくだ
さい。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分 (研究分野等)	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
分子生命制御学分野	分子代謝制御学特論	1後		2		1					<p>平成26年3月 福澤健治教授の辞任 他に担当者が1名いるため支障なし (26)</p> <p>オムニバス</p>
	分子酵素調節学特論	1後		2		2					
	分子細胞生物学特論	2後		2		1			1		
	分子薬理学特論	1前	2			1	1				
	脂質分子生物学特論	2前		2		1 2					
	分子神経科学特論	2前		2		1	1				
	分子生命制御学演習	3前	2			4	1				
	小計 (7科目)	—	4	10	0	7	1	0	1	0	
病態解析治療学分野	病理病態学特論	2前		2		2					<p>・ 教育課程充実のため、教員を追加 (26) 担当 田中丈夫(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D可</p> <p>・ 教育課程充実のため、教員を追加 (26) 担当 勝 孝(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D可</p> <p>・ 教員の昇格 (26) 担当 稲垣昌宣 平成25年9月 教員審査済 判定 准教授(講師から昇任)</p> <p>・ 教育課程充実のため科目を追加 (26) 担当 杉本由美(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D可</p> <p>オムニバス</p> <p>・ 平成26年3月 福澤健治教授の辞任 他に担当者が1名いるため支障なし (26) 教育課程充実のため、教員を追加 (26) 担当 田中丈夫(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D可</p> <p>オムニバス</p>
	病態薬物学特論	1後		2		2					
	がん医療薬学特論	2後		2		2					
	病態微生物学特論	1後		2		1					
	医療情報解析学特論	1前	2			2 1					
	医薬品品質評価学特論	2前		2		2 1	1	1			
	薬効評価学特論	2後		2		1					
	漢方治療学特論	2後		2		1					
	病態解析治療学演習	3後	2			5					
	臨床薬学演習	4前		2		4					
	小計 (9科目)	—	4	16 14	0	11 10	1 0	0 1	0	0	

	特別研究	1～3通 4前	14			15 13	2 1	0 1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年3月 福澤健治教授の辞任 他に担当者が1名いるため支障なし (26) 教育課程充実のため、教員を追加 (26) 担当 勝 孝(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D○合 担当 杉本由美(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D○合 担当 田中丈夫(教授) 平成26年1月 教員審査済 判定 D○合 教員の昇格 (26) 担当 稲垣昌宣 平成25年9月 教員審査済 判定 准教授
	小計 (1科目)	—	14	0	0	15 13	2 1	0 1	1	4	
合計 (17科目)		—	22	26 24	0	15 14	2 1	0 1	1	4	

(注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	12	0	17	5	13	0	18	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	0㎡	106,555 106,765 104,835㎡	0㎡	106,555 106,765 104,835㎡	安田女子短期大学と共用 校地の合筆、分筆、地 積更生等により修正が 必要となったため (25) 校舎敷地面積見直しと 地籍更生等により修正 が必要となったため (26)		
	運動場用地	0㎡	24,106㎡	0㎡	24,106㎡			
	小 計	0㎡	130,661 130,871 128,941㎡	0㎡	130,661 130,871 128,941㎡			
	そ の 他	0㎡	4,082 4,101 3,106	0㎡	4,082 4,101 3,106			
	合 計	0㎡	134,743 134,972 132,047㎡	0㎡	134,743 134,972 132,047㎡			
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	0㎡	82,433.95 70,253.37 72,668.68㎡	0㎡	82,433.95 70,253.37 72,668.68㎡	安田女子短期大学と共用 校舎建て替えのため (25) 校舎建て替えのため (26)			
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学・短期大学全体 校舎建て替えのため (25) 校舎建て替えのため (26)		
	80 68 73 74室	13 12 13室	141 129 138室	4 6 8室 (補助職員 8人)	3室 (補助職員 1人)			
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教員数の変更のため (26)		
	薬学研究科			28 25 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	薬学研究科	20,721 [3,033] (20,721 [3,033])	43 [12] (43 [12])	368 [368] (368 [368])	751 (751)	11,633 (11,633)	233 (233)	
	計	20,721 [3,033] (20,721 [3,033])	43 [12] (43 [12])	368 [368] (368 [368])	751 (751)	11,633 (11,633)	233 (233)	
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,218 ㎡		450 席		330,000 冊			
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,937 ㎡		テニスコート			弓道場		
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	1,050千円	1,050千円	図書購入費	3,400千円	3,400千円	3,400千円
		共 同 研 究 費 等	1,104千円	1,104千円	設備購入費	1,700千円	1,700千円	1,700千円
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		980千円	790千円	790千円	790千円	790千円	790千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		各年度の手数料収入、資産運用収入、雑収入をこれに充当する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	安田女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
大学	年	人	年次 人	人		倍			
文学部			3年次			1.11			
日本文学科	4	90	1	362	学士(文 学)	1.14	昭和41年度	広島市 安佐南区 安東 六丁目 13番 1号	日本文学専攻、書道文 化専攻平成23年より学 生募集停止
書道学科	4	30	1	122	学士(文 学)	1.00	平成23年度		
英語英米文学科	4	110	2	444	学士(文 学)	1.15	昭和41年度		英語英米文学科は平成 23年度より入学定員 120人から110人に減員
児童教育学科	4	—	—	120	学士(文 学)	1.03	昭和50年度		児童教育学科は平成24 年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	92	学士(文 学)	1.12	平成16年度		心理学科は平成24年度 より学生募集停止
教育学部			3年次			1.10			
児童教育学科	4	110	10	340	学士(教 育学)	1.10	平成24年度		
心理学部			3年次			1.07			
心理学科	4	90	2	272	学士(心 理学)	1.07	平成24年度		
現代ビジネス学部			3年次			1.11			
現代ビジネス学科	4	120	2	474	学士 (現代ビ ジネス学)	1.11	平成15年度		現代ビジネス学科は平 成24年より110人から 120人に増員
家政学部			3年次			1.06			
生活デザイン学科	4	105	2	419	学士(家 政学)	1.12	平成16年度		生活デザイン学科は入学 定員 平成23年度90人よ り100人、平成24年度よ り100人から105人に増員
管理栄養学科	4	120	—	400	学士(家 政学)	1.00	平成16年度		管理栄養学科は平成25 年度より入学定員80人 から120人に増員
薬学部						0.65			
薬学科	6	120	—	750	学士(薬 学)	0.65	平成19年度		薬学部薬学科は平成24 年度より入学定員130 人から120人に減員
看護学部						0.85			
看護学科	4	120	—	120	学士(看 護学)	0.85	平成26年度		
大学院									
文学研究科									
博士前期課程						0.56			
日本語学日本文学専攻	2	6	—	12	修士(文 学)	0.16	平成6年度		
英語学英米文学専攻	2	6	—	12	修士(文 学)	0.75	平成6年度		
教育学専攻	2	18	—	36	修士(文 学)	0.63	平成6年度		
博士後期課程						0.03			
日本語学日本文学専攻	3	2	—	6	博士(文 学)	0.00	平成8年度		
英語学英米文学専攻	3	2	—	6	博士(文 学)	0.16	平成8年度		
教育学専攻	3	5	—	15	博士(文 学)	0.00	平成8年度		

家政学研究科						0.66			
修士課程						0.66	平成25年度		
健康生活学専攻	2	3	—	6					
薬学研究科						0.25			
博士課程						0.25	平成25年度		
薬学専攻	4	2	—	4					
大学 の 名 称	安 田 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科	年	人	年次 人	人	短期大学 士(保育)	倍	昭和30年度	広島市 安佐南区 安東 六丁目 13番 1号	
秘書科	2	150	—	300	短期大学 士(秘書)	1.00	昭和63年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授 (研究科長)	フカサリケンジ 福澤 健治 71 (高)	<平成25年4月>	脂質分子生物学特論 病態解析治療学演習※ 特別研究						平成26年3月 一身上の都合 により退職 他に担当教員 がいるため支 障なし (26)
専	教授 (専攻長)	カミイチアキ 亀井 千晃 68 (高)	<平成25年4月>	分子薬理学特論 病態薬物学特論 臨床薬学演習※ 特別研究	専	教授 (研究科長・ 専攻長)	カミイチアキ 亀井 千晃 68 (高)	<平成26年4月>	分子薬理学特論 病態薬物学特論 臨床薬学演習※ 特別研究	平成26年4月 研究科長就任 (26)
専	教授	フジムラキンゴ 藤村 欣吾 71 (高)	<平成25年4月>	病理病態学特論 病態解析治療学演習※ 臨床薬学演習※ 特別研究						
専	教授	ミヤハラヒロシ 宮原 裕 67 (高)	<平成25年4月>	がん医療薬学特論 病態解析治療学演習※ 臨床薬学演習※ 特別研究						
専	教授	オオカヒデアキ 大塚 英昭 65 (高)	<平成25年4月>	漢方治療学特論 病態解析治療学演習※ 特別研究						
専	教授	トクムラアキラ 徳村 彰 64 (高)	<平成26年4月>	脂質分子生物学特論 分子生命制御学演習※ 特別研究						
専	教授	セヤマトシオ 瀬山 敏雄 63 (高)	<平成25年4月>	病理病態学特論 がん医療薬学特論 特別研究						
専	教授	モリタヤスヒロ 森田 泰博 61 (高)	<平成25年4月>	分子細胞生物学特論 分子神経科学特論 病態薬物学特論 特別研究						
専	教授	アカキレイコ 赤木 玲子 59	<平成25年4月>	分子代謝制御学特論 分子生命制御学演習※ 特別研究						
専	教授	アライシアキ 新井 茂昭 59	<平成25年4月>	医療情報解析学特論 病態解析治療学演習※ 臨床薬学演習※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	イノ ウエ 幸江 58	<平成25年4月>	分子酵素調節学特論 分子生命制御学演習※ 特別研究						
専	教授	モリ モト キン ジョウ 森 本 金 次 郎 56	<平成25年4月>	病態微生物学特論 特別研究						
専	教授	ニシ ヒロ ユキ 西 博 行 55	<平成25年4月>	医薬品品質評価学特論 特別研究						
専	教授	オオヤマ シノブ 大 山 義 彦 53	<平成25年4月>	分子酵素調節学特論 分子生命制御学演習※						
専	准教授	コンドウ シンイチ 近 藤 慎 一 43	<平成25年4月>	分子薬理学特論 分子神経科学特論 分子生命制御学演習※ 特別研究						
専	講師	イノカキ マサノブ 稲 垣 昌 宣 47	<平成25年4月>	医薬品品質評価学特論 特別研究	専	准教授	イノカキ マサノブ 稲 垣 昌 宣 48	<平成25年9月>	医薬品品質評価学特論 特別研究	平成25年9月 AC教員審査済 准教授に昇格 (26)
専	助教	クボタ ナホ 久 保 貴 紀 36	<平成25年4月>	分子細胞生物学特論 特別研究						
					専	教授	カサハタ タカシ 勝 孝 64 (高)	<平成26年4月>	医薬品品質評価学特論 特別研究	平成26年1月 AC教員審査済 (26)
					専	教授	スギモト ユミ 杉 本 由 美 56	<平成26年4月>	薬効評価学特論 特別研究	平成26年1月 AC教員審査済 (26)
					専	教授	タナベ タカオ 田 中 丈 夫 66 (高)	<平成26年4月>	医療情報解析学特論 病態解析治療学演習※ 特別研究	平成26年1月 AC教員審査済 (26)

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	教員の 定年年齢	定年を延長 している教員数
13 (12)	4 (4)	17 (16)	15 [2]	4 [3]	19 [3]	教授63歳 准教授・講師 60歳	9 名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	福澤 健治	平成26年3月 一身上の都合により辞任(26)
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

この度の辞任に伴う開設授業科目は、認可時の計画において複数人で担任することで提出しており、学生の履修等への影響はないと考えている。
一方、学生への周知については、十分に説明し履修指導していく。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年11月)	<p>1. 教育の目的において、「臨床に根ざした先端的研究能力を有する人材の養成（薬物血中濃度などの薬物治療モニタリング、薬物相互作用および配合禁忌等に関する知識および臨床に応用できる能力）、ならびに医療現場における医薬品情報管理の高度な薬剤師業務に精通した薬剤師の育成を目指す」と掲げているが、本学が養成する人材は薬剤師のみではなく、薬剤師以外の人材も養成するため、学生募集等に際しては誤解が生じないように、配慮すること。</p> <p>2. 「医薬品評価学特論」を「医薬品品質評価学特論」に変更したことにより、薬効評価に係る科目が設定されていない。本学の養成人材像に照らして、薬効評価に係る科目が必要と考えられることから、設置の目的が達成できるよう、科目を開設すること。</p> <p>3. 教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教員組織編成の将来構想を着実に実施し、臨床現場を担当できる専任教員の充実に努めること。</p> <p>4. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>薬剤師以外の人材も養成するために、平成25年度の大学院薬学研究科博士課程学生募集要項中に、アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）として、以下の一文を加えている。「薬学の諸分野に関する幅広い知識と技能及び高い倫理観のもと、独創的かつ創造的な研究を行い、高度な職能と資質を持ち、将来薬物治療を通して高度医療に貢献できる薬剤師等の、人類の健康と社会の発展に貢献する意欲を有する者を選抜する。」(25) (26)</p> <p>実施計画中 (25) 「薬効評価学特論」を開設した。(26)</p> <p>実施計画中 (25)</p> <p>本学では、定年退職者の再雇用に関する規程が定められている。また、特別任用職員就業規則により70歳まで契約を更新することが可能であり、さらに特別の場合は70歳以降の契約も可能である。当面はこの規程を適用することを考えているが、教育の持続性、管理運営等に支障が生じないに計画することは非常に重要であるため、若手教員の育成や新規教員の採用などの計画を図る。(25) (26)</p>	<p>「医薬品評価学特論」の「医薬品品質評価学特論」への変更に伴い、薬効評価に係る科目「薬効評価学特論（仮）」を新たに開設すべく準備を行っている。(25) 対応済 (26)</p> <p>臨床現場を担当できる専任教員の新規採用に向けて検討している。また、高齢の教員の担当分野については、新規教員の採用や学部の手教員の育成をはかるなど、教員の組織編成の将来構想を策定すべく準備を行っている。(25) (26)</p> <p>定年退職者の再雇用に関する規程、専門職員就業規程の適用だけでなく、学部の手教員の育成や新規教員の採用など、教員の組織編成の将来構想を策定すべく準備を行っている。(25) (26)</p>

	<p>5. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p> <p>(その他大学全般に関する事項)</p> <p>6. 家政学部生活デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>実施計画中 (25) 専任教員を配置した。(26)</p> <p>平成24年度から、当該学科の入学定員を前年度より5名増やし(薬学部入学定員減の一部を充当)、入学定員105名とした。 平成25年度の入学者は、120名であった。入学定員超過率は1.14、平均入学定員超過率は1.22となり、平成24年度の平均入学定員超過率1.32に比べ減少した。(25) 平成26年度の入学者は、107名であった。入学定員超過率は1.02、平均入学定員超過率は1.09となり、平成24年度の平均入学定員超過率1.32に比べ大きく減少した。(26)</p>	<p>臨床現場の教育研究に深い造詣があり、薬効評価に係わる科目「薬効評価学特論(仮)」を担当できる専任教員1名を、科目開設時までには確実に配置すべく準備を行っている。(25) 対応済 (26)</p> <p>平成24年度に入学定員105名(前年度より5名増)とし、入学定員超過率の是正に努めた。平成25年度以降も、引き続き入学定員超過率の是正に努める。(25) 是正した (26)</p>
--	--	---	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成25年度 1回開催（但し、学内グループウェアを使用した電子会議は随時開催）

第1回 平成25年7月18日（木）、参加者：22名

c 委員会の審議事項等

授業方法の改善について（授業アンケートの実施とそのフィードバック等）

FD研修会について

補助金を利用した教育・研究体制等整備事業の活用について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研究活動
- ・ 授業評価アンケート、授業公開（学部）
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ FD研修会の開催
- ・ アンケート調査等の実施（学部）
- ・ オリエンテーションの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成25年度に合計4回のFD研修会を開催

新任教員向けFD研修会（開催日：平成25年7月4日（木）参加者：16名）

第1回 「学習行動調査からわかる学生の現状」（開催日：平成25年10月31日（木）参加者：134名）

第2回 「授業公開参観およびグループ討議」（開催日：平成26年2月25日（火）参加者：126名）

第3回 「まほろばポータルでのポートフォリオ運用について」

（開催日：平成26年3月6日（木）参加者：154名）

- ・ 学期毎に学生への授業アンケートを実施。結果及び学科長による総評（フィードバック）は学内に公開（掲示）。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 大学全体として、FD委員会で教員の資質向上の方策・改善について検討中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期および後期の授業終了時期（13～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。

非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。

学生には、各学科ごとの集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域・社会の強い要望と期待に応えての設置は、非常に意義がある反面、責任と重みを痛感している。今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、広い視野と豊かな人間性と倫理観を備え、かつ医療人として質の高い薬剤師の養成を目指して教育を行う。

一方、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年4月12日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合していると判定された。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 平成25 年 6 月 13 日 ）